

日本ホテル協会

「マネジメント&オペレーションプログラム」で初のリゾートホテルコースを開催



閉講式であいさつする中村裕日本ホテル協会会長。「これからは既存ホテルマンの教育の場の提供を、日本ホテル協会として積極的に行なっていく」と語る



修了証書が一人ひとりに手渡された



参加者はシミュレーションの結果を基に真剣に討論していく



意思決定の結果、決めた値をPCに入力していく

日本ホテル協会は会員ホテル向けに開発した研修プログラムであるホテルマネジメント養成プログラムの中の一つ、「マネジメント&オペレーションプログラム(MOP)」の第二回研修を開催した。研修開催日程は1月17日～19日の3日間で、専門学校日本ホテルスクールの会場として行なわれた。支配人、部門管理者を中心とした計17人の受講生が集まり、ホテルグランドパレスに宿泊しながら合宿形式で本研修が行なわれた。

ホテルマネジメント養成プログラムは、部門管理者(支配人)養成コースと衛生管理責任者コースに分かれており、前者はさらにMOPと「ホスピタリティ&ヒューマンリソースマネジメントプログラム(HHP)」の二つのプログラムから構成されている。MOPは計数管理能力をはじめ、予算計画の立案および実績を分析する能力、営業管理能力を向上させ、ホテル経営者の意思決定にかかわる包括的な経営能力の開発を目的としている。

第一回研修ではシティホテル版のシミュレーションプログラムを使用した。今回は「リゾートホテルコース」ということで(財)日本ホテル教育センターの協力により新たに開発されたリゾート版が使用された。

参加者はあるホテルの経営を引き継ぐという前提の下、チームに分かれてチームごとにホテル名やメンバーの役割分担を決定。その後、組織の体制作り、経営方針の策定、損益分岐点売上高の算出、予想PL・GOPの



行でに講師研
に会心が講ム氏
了親熱姿がサ誠
終了講を。た宮
式れ講を。た宮
講わ、問られ務
閉なも、質らを究

作成などをシミュレーションしていき、4期、計12カ月にわたるホテル経営に携わっていく。参加者は皆、真剣に取り組み、宿泊ホテルで深夜までメンバー間で討論する姿も見られた。

最終日に行なわれた閉講式には、同協会の中村裕会長が「今回の受講者の皆さんはリゾートホテルコースの第一期生。日本のホテルの発展のため、自分たちはもとより、後輩や同僚にも今回学んだことを伝えてほしい」とあいさつ。参加者一人ひとりに修了証書を手渡した。

今後もMOPはシティホテルコースとリゾートホテルコースをそれぞれ、年に1回ずつ開催していく予定。

〈取材・本誌 石渡雅浩〉